

株式会社ミュージックバード

第74回番組審議会議事録

1. 開催日時 平成30年1月24日(水) 15時00分～16時30分
2. 開催場所 TOKYO FM 10階 大会議室
3. 出席者
 - <番組審議会委員>
 - 矢内 廣 委員長
 - 松尾 修吾 副委員長
 - 福本 ゆみ 委員
 - 中西 健夫 委員
 - 村井 裕弥 委員
 - <欠席>
 - 佐野 光徳 委員
 - <ミュージックバード>
 - 代表取締役社長 雄谷 英一
 - 常務取締役 大橋 明夫
 - 取締役技師長 土屋 充央
 - コンテンツ事業部部長代理 岩崎 育郎
 - コンテンツ事業部 田中美登里
 - コンテンツ事業部 関根直子
4. 議事内容
 - (1) 放送活動のご報告
 - (2) 番組試聴
 - (3) 今後の施策について
5. 配布資料
 - (1) 第74回番組審議会資料
 - (2) 第73回番組審議会議事録

(1) 主な放送活動の報告

◇1月新番組

① 121ch THE CLASSIC 「24bit で聴くシンフォニック・ゾーン」

放送日時:毎週日曜 18:00～20:00 再放送＝毎週土曜 22:00～24:00

内容:リスナーからご要望の多かった人気の交響曲や話題のアーティストによる協奏曲など、今聴きたいオーケストラを厳選。24bit 音源ならではの迫力満点のサウンドをお送りします。

② 121ch THE CLASSIC 「バーンスタインの時代～生誕 100 年記念」

放送日時:隔週土曜 18:00～22:00 再放送＝翌週土曜 18:00～22:00.

出演:片山杜秀

内容:アメリカが生んだ偉大な音楽家レナード・バーンスタインの生誕 100 年の 2018 年、激動の 20 世紀後半を生き抜いたバーンスタインの遺産を、時代の波と共にとらえ、1 年間にわたって特集。

③ 123ch THE 青春歌謡 「ビリー諸川の昭和浪漫歌謡曲」

放送日時:毎週土曜 17:00～18:00

出演:ビリー諸川

内容:ロカビリー歌手・ビリー諸川が昭和の浪漫溢れる歌謡曲の数々を時代背景とともに紹介。

事務局>契約者の高音質ニーズに応える改編として、4月改編の前に1月改編としてクラシックチャンネルで24bitハイレゾ音源を使う選曲ゾーンを拡大した。また生誕100周年を迎えるバーンスタインを1年間かけて特集する大型の新番組をユニークな視点を持つ片山杜秀氏の出演でスタートさせた。

委員>ハイレゾに対するニーズはやはり強いのか？

事務局>相当に強いと考えている。但し、ハイレゾ音源を放送するには手間と時間がかかることから、スタッフの体制を強化する必要があり、徐々に人員を増強し、対応している。

◇2017年10月以降の個人事業動向

「24ビット放送化」、「プレミアムチャンネル」、「初期費用が0円の新レンタルプラン・コミコミLight」の施策によって、2017年4月～9月までの個人事業は僅かながら純増となりました。

10月には現行チューナー3機種に外付け接続する楽曲ディスプレイ「MBX-1」(税別 15,000 円)を発売、12 月末までの3か月間で合計185台を販売しました。

この楽曲ディスプレイとの接続を可能にするため、ハイエンドチューナー2機種の背面に端子を増設したマイナーチェンジも行い、新発売致しました。

また併せて、コミコミLightのスタンダードチューナーでは飽き足らず高級機を検討するお客様へのキャンペーンとして、チューナー購入の方で新規に聴取契約を3年間結んでいただける方には、加入料、アンテナ代、設置工事費を無料とする施策を期間限定でスタート。その結果、高額なハイエンドチューナー2機種は両機で69台の販売実績となりました。

委員>純増というのは、いつ以来か？

事務局>開局時以来だと思われる。特に最上位機の人気が高く、評価もオーディオ各店に広まりはじめていると感じている。楽曲ディスプレイについても順調な販売となっており、やはり視認性のニーズが高いことが証明された結果となっている。

(2) 番組試聴

番組名:『WORLD LIVE SELECTION』

放送チャンネル:MUSIC BIRD 121ch「THE CLASSIC」

放送日：2017年12月31日(日)16:00~18:00

出演：加藤浩子(音楽評論家)、田中美登里

内容：ヨーロッパ最大のクラシック・フェスティバルとして、オーストリアのザルツブルクで開催される『ザルツブルク音楽祭2017』から話題の公演を厳選、ライブ演奏を24ビットの高音質のまま放送。

ザルツブルク音楽祭は、モーツァルトが生まれ、映画「サウンド・オブ・ミュージック」のロケ地としても有名なオーストリアの街ザルツブルクで、毎年夏にウィーン・フィルほか世界のトップオーケストラ、指揮者、オペラ歌手、ソリストが集い、開催されるヨーロッパ最大のクラシックの祭典。

今年は7月21日から8月30日まで開催され、クラシック界に一大旋風を巻き起こしている鬼才テオドール・クルレンツィスが衝撃のデビューを果たしたオペラ『皇帝ティートの慈悲』をはじめ、帝王リッカルド・ムーティ指揮ウィーン・フィルの演奏や、現在、世界No.1の呼び声が高いソプラノ歌手アンナ・ネトレプコが初挑戦した『アイダ』など、豪華な演奏が繰り広げられました。

◇12月31日(再放送=1月20日)ノ帝王ムーティ指揮ウィーン・フィル、イエフィム・ブロンフマン(P)

「帝王」と呼ばれる指揮者はリッカルド・ムーティは2018年のウィーン・フィル・ニューイヤー・コンサートに登場します。

曲目：ブラームス：ピアノ協奏曲第2番ノリッカルド・ムーティ指揮ウィーンフィルハーモニー管弦楽団

チャイコフスキー：交響曲第4番

キャンペーン：全国ミュージックバード取扱オーディオ店・家電店では、一部を除き「ザルツブルク音楽祭」を24ビットの高音質放送で体験できるキャンペーンも実施します(2018年2月末まで)。期間中、当該店でミュージックバード24ビット放送専用チューナーを購入、新規に聴取契約する方は、加入料、専用アンテナ、設置工事が0円になります。

事務局>ORFからの音源は24bitで収録されており、24bitのまま放送する高音質さが極めて契約者に評価されている。

この番組を聴くためだけでも月額2000円は安いという反響もある。

委員>費用は大分かかるのか？

事務局>収録されたコンサート毎に、オーケストラや指揮者などで価格は色々である。特にウィーンフィルの定期演奏会は人気も高いがコストも高い。

委員>他にはない、高音質と演奏というコンテンツはミュージックバードの大いなる強みとなる。今後もより充実させていくことが肝要である。

(3) 今後の施策

・当社番組情報の定期的発信について

前回の本番組審議会でご指摘のあった当社番組情報の周知方法の検討について、現在、オーディオビジュアル専門情報サイト Phile-Web(音元出版)への当社情報ページ掲載とメルマガ配信を検討しています。

同サイトは、AV機器メーカー及びエンタメ業界の最新情報を集約することで月間140万UUを誇るサイトで、メルマガでのインバウンド展開を検討します。

・JALカードとの販売連携(2018年3月)

昨年10月に加盟したJALマイレージバンクにより、聴取料に合わせてJALのマイル付与がスタート。更にこれまで代引販売のみとなっていた受信機販売のクレジットカードでの支払受付を3/1より開始します。これにより、JALカード発行の会員誌「AGORA」(発行部数83万部)での当社PRを展開します。

・直販でのショッピングクレジット販売の実施(2018年3月)

カード払い受付開始に合わせ、提携する ORICO のショッピングクレジットを当社 HP でオンライン申込可能に致します。

委員>よそにはないオリジナルコンテンツが有料放送の成否を担うと思うが、いいコンテンツを折角放送していてもそれを多くの人に知ってもらいPRが極めて重要である。ミュージックバードとしてその点はどのように考えているか？

事務局>コストを掛けられないなか、PRが難しい。SNS等を使った展開も実施しているが加入に至るのはオーディオ的な関心の高い人に限られている。まずは多くのオーディオファンに浸透している音元出版の Phile-Web を核に発信する計画である。

以上